

JR 五能線の乗務員が厳選

# 各駅停車のススメ

From Higashi-Noshiro to Ajigasawa

はじめに

このガイドブックを作成したのは、乗務員になるまで五能線沿線に縁もゆかりもなかった人間です。

日々業務にあたり、景色を見て生活していくうちに、私たち自身も五能線の魅力にどっぷりはまり、今や立派なファンになっていました。

そんな私たちが、もともと沿線住民だった社員や五能線のベテラン社員、更に沿線住民の皆さまとの交流からヒントを得て作り上げたのが、このガイドブックです。

ご乗車の皆さまが、楽しく、味わい深いご旅行ができますように、本日も列車は運行して参ります。

# もくじ



## 01 はじめに

日本海、植物、田園風景、そして白神山地…

## 03 五能線を彩る、美しい自然。

乗務員から、季節ごとの魅力を紹介します。

## 05 SEASON SCHEDULE

各駅停車で大活躍！

## 06 キハ40・48形車両

乗務員にアンケートを行い、おすすめ情報をまとめました。

## 07 五能線沿線めぐり(東能代から鱒ヶ沢駅まで)

07 東能代～能代駅

08 向能代～北能代駅

09 鳥形～沢目駅

10 東八森～八森駅

11 滝ノ間～あきた白神～岩館駅

12 大間越～白神岳登山口～松神駅

13 十二湖～陸奥岩崎駅

14 陸奥沢辺～ウェスパ椿山～鱸作駅

15 横磯～深浦駅

16 広戸～追良瀬～麩木駅

17 風合瀬～大戸瀬～千畳敷駅

18 北金ヶ沢～陸奥柳田駅

19 陸奥赤石～鱒ヶ沢駅

日々の乗務体験から、マニアックなお話を載せました。

## 20 乗務員の小噺

沿線風景にこだわりある乗務員が厳選しました。

## 21 特選 写真集

紹介したお店や施設に関する情報

## 22 POINT INFO

五能線さ乗りにけえ～

五能線おもてなし隊のなまはげ。  
東能代駅によく出没します。



Beautiful  
nature

# 五能線を彩る、美しい自然。

秋田県能代市にある東能代駅から、青森県田舎館村の川部駅までをつなぐ、全長147.2キロのローカル線。  
沿線は日本の原風景を彷彿させる、自然豊かな環境です。

## 日本海



撮影場所 鱒ヶ沢～鳴沢駅

全長の半分を占める、約80キロの区間で日本海を望むことができます。

海の色は気まぐれで、鮮やかなコバルトブルーや、曇り空を映したグレー、荒々しいブラックなど、様々な表情を見せてくれます。

## 植物



撮影場所 岩館～大間越駅

沿線の植物は、目に見える季節の変化を教えてください。  
海からの潮風にも耐え、力強く根付いています。

## 田園風景



撮影場所 東八森～八森駅

“米どころ、東北ならではの風景です。夏場は涼やかに揺れる苗が、秋には黄金色のじゅうたんに移り変わります。

Beautiful  
nature

しらかみさんち  
「白神山地」ってこんなところ



屋久島とならんで1993年12月、日本で初めてのユネスコ世界遺産(自然遺産)に登録されました。人の影響をほとんど受けていない、世界最大級のブナ原生林をはじめ、多種多様な動植物が生育しています。

原生状態の高さは地球上で稀であるため、入山規制エリアもありますが、白神岳、大峰岳、ニツ森など、立ち入ることのできる登山道もあります。

世界自然遺産 白神山地

秋田県北西部から  
青森県南西部にまたがる  
広大な山地帯です。  
隆起と崩壊を繰り返し、  
豊かな生態系を生みました。

乗務員へのアンケート結果を元にご紹介！

# SEASON

Beautiful nature

# SCHEDULE

春

夏

秋

冬

## 季節の楽しみ方

東北の春は肌寒い分だけ、視界がとてもクリアで、空気がおいしく感じられます。ぜひ、深呼吸してみてください。梅雨のころは霧が濃く景色も曇りがちですが、草木たちは潤いのおかげで元気いっぱい！生命力あふれる新緑が楽しめます。

## 季節の楽しみ方

沿線は自然豊かなため、車内には見たこともない虫が入ってきたり、蜂が入って大騒ぎになったり…なんてこともあります。慣れれば可愛いものです。海が最も輝き、草木の緑も深みを増すこの季節、絶景を拝めるチャンスが沢山ありますよ。

## 季節の楽しみ方

海に面する草木は、潮風に晒されています。内陸の色彩豊かな紅葉も素晴らしいと思いますが、"沿岸の紅葉、ほどこか鉄さび色を帯びて、この土地ならではの雰囲気を出している気がします。春からすすく育った稲は、黄金色に輝いて海にも引けを取らない美景が出来上がります。

## 季節の楽しみ方

この時期になると、リゾートしらかみ号は運行本数が少なくなり、雪害で遅れてしまうことが多くなります。が、それでも来て下さるお客さまがポツリポツリ。雪深い道をいくら進みつづけても、見えるのは白黒のモノクロな景色だけですが、不思議と居心地がいいんです。

## 見ごろの景色

- 白く小粒な花のハクサンホウボウ。(岩館～大間越駅を中心に、沿線あちこちで)
- 御所の台ふれあいパークの桜。トンネルのように桜の下を通過する。(あきた白神駅)
- ピンクの花のタニウツギ。(沿線あちこち)
- 水を張り、海のように広がり輝く田園地帯。(東八森～八森駅)
- アジサイ。(沿線あちこち)
- 行合崎海岸のニッコウキスゲ。(深浦～広戸駅)

## 見ごろの景色

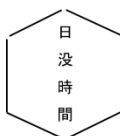
- 夏は何といっても、夕日です。
- 行合崎海岸の夕日が見える時間。(深浦～広戸駅)
- 遊歩道から海に向かう夕日が最高。(十二湖駅)
- 田んぼと海がきれいに見える場所の夕日。(ウェスパ椿山～鱸作駅)
- 鱸作～横磯駅で見る夕日がきれい。
- 第二小入川橋梁の海側の開放感ある景色。(あきた白神～岩館駅)
- 米代川橋梁を渡る列車と夕日。(能代～向能代駅)

## 見ごろの景色

- 大イチョウ。(千畳敷～北金ヶ沢駅)
- 第二小入川橋梁から見える景色。山側の国道の赤い橋梁が入った紅葉の景色が、なんか好きだなあ。(あきた白神～岩館駅)
- 沿線に田んぼは沢山あるけど、東八森駅周辺の田んぼが一番好き。

## 見ごろの景色

- 千畳敷海岸の氷壁。海岸よりもきれいだと思う。(千畳敷駅)
- 山間を走る際、まるで水墨画の世界を走っているように錯覚する。
- ニセアカシアの細い枝が、無数に絡み合っ凍る様は木目細い銀線細工のよう。自然の芸術。(沢目～東八森駅)
- 3月の海、長い冬が終わり海がキラキラ輝いて見える時期。「春眠暁を覚えず」。



4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

上旬

上旬

上旬

上旬

上旬

上旬

上旬

上旬

上旬

上旬

上旬

上旬

18:00～18:15

18:30～18:45

19:00～19:10

19:15～20:00

18:40～18:50

17:50～18:10

17:00～17:15

16:20～16:30

16:00～16:10

16:20～16:30

16:50～17:10

17:30～17:40

下旬

下旬

下旬

下旬

下旬

下旬

下旬

下旬

下旬

下旬

下旬

下旬

18:20～18:30

18:50～19:00

19:10～19:15

19:00～18:50

18:30～19:10

17:20～17:50

16:40～16:50

16:10～16:15

16:10～16:20

16:30～16:50

17:15～17:30

17:50～18:00

2018年の時間を元、青森県のおおよその時間を表記しました

## 用語解説

**行先票 (サボ)** 列車の行先を示す金属板。正式名称はサインボードで、正面と側面にあり、それぞれ前サボ・横サボともいう。終着後、乗務員が手動で取り替える。

**戸閉車側表示灯** 車掌が乗降ドアを操作する際に確認する表示灯。開けた際は「側灯、点」、閉めた際は「側灯、滅」と喚呼する。

**前部標識灯** 列車の前部と後部を示す標識灯。それぞれ2つずつあるが、五能線内の列車では、後部標識灯(尾灯)は1つだけの点灯でもよいというルールがある。

**タブレット方式** 信号のない線区で使用される運転方式。A駅ーB駅の区間を走行する際、①A駅長からタブレット(金属製の輪っか)という通行手形をもらう、②列車がAーB駅間を走行する、③B駅到着後、B駅長にタブレットを返却する、というように、一つの区間につき、タブレットを持った一列車だけが通行できる。

窓の格子は、このタブレットを受け取る際に窓を割らないよう付けられました。

Local train

国鉄時代から働きつづける、五能線イチのベテラン

# 五能線で大活躍のキハ40・48形車両

乗降ドアの窓に格子がついている車両は、昔「タブレット方式」で運転していた頃の名残。

旧国鉄カラーとも呼ばれる朱色

戸閉車側表示灯

昇降窓

行先票(サボ)

運転台が1つ  
キハ48形

戸閉車側表示灯

五能線は電線の無い「非電化区間」。軽油を燃料にして動きます。

運転台

昇降窓

行先票(サボ)

トイレの窓。五能線には1列車に1つトイレがあります。

運転台が2つ  
キハ40形

運転台

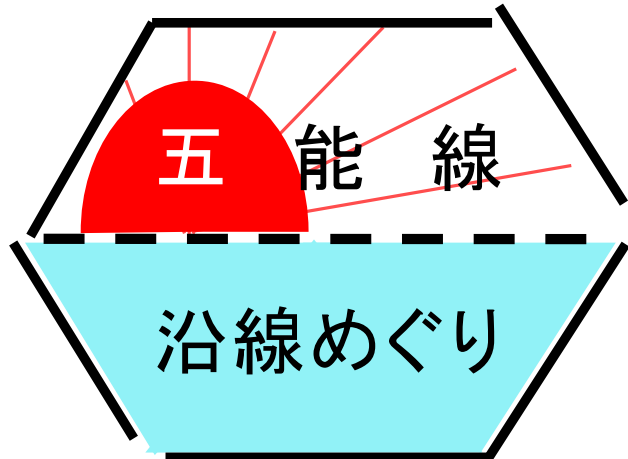
前部標識灯

後部標識灯

五能線の列車には、「キハ40形」と「キハ48形」の2種類の車両が使われています。乗務員の間では、「ヨンマル」「ヨンパー」という愛称で通じています。

カラーは2種類あります(車両の種類とカラーは連動していません)。車両運用の都合で、男鹿線の車両(白地に緑ライン)が使用される場合もあり、五能線の東能代～鱒ヶ沢間では最長3両編成で運転しています。編成によっては、駅のホームが短くて列車が収まらないこともあります。このような場合は、後ろの車両を回送車両として、乗降ドアを閉め切るといった処置をします。

ごくごく稀にですが「朱色の車両×白地に青ラインの車両×男鹿線の車両」というカラフルな組み合わせになることもあります。



東能代駅から川部駅までを走る五能線。このガイドブックでは、起点駅の東能代～鱒ヶ沢駅までの区間に絞ってご紹介いたします。  
乗務員へのアンケートと、沿線の方々への取材から、お客さまにご紹介したい、沿線の風景・お店・スポットなどを詰め合わせました。

MARK

- : リゾートしらかみの停車駅
- : 普通列車のみ停車する駅



五能線の起点駅  
**東能代駅**  
Higashi-Noshiro

1番線ホームにあるしらかみの鐘。旅の門出にならしてみては。



SPOT

- ・旧料亭 金勇 かねゆう
- ・風の松原
- ・能代エナジウムパーク
- ・はまなす画廊
- ・能代バスケットミュージアム
- ・井坂記念館

東洋一の木都からバスケットのまちに  
**能代駅**  
Noshiro

東能代～鳥形駅  
こちらは秋田県能代市です

能代のキーワード Keyword

- 1. バスケット**  
能代バスケットミュージアムをはじめ、商店街や街並みにバスケットのモチーフがあしらわれています。能代駅ではリゾートしらかみ1・3号停車時に、冬期を除きホームでシュートチャレンジを行います。
- 2. 木都**  
旧料亭金勇(国登録有形文化財)は、天然秋田杉の良材を余すことなく使用した建築物。木材加工業で栄えた「東洋一の木都」の栄華を今に伝えています。

JR秋田支社公認キャラクター「しらかみ3兄弟」と五能線のお客さまをもてなすべく現れる「なまはげ」。イベント・祝日などに不定期で東能代駅や能代駅に出没します。

**3. 夏祭り**  
能代の夏祭りは規模・集客ともに凄まじい熱気で溢れます！

7月	能代港まつり花火大会
8月	こども七夕 能代七夕「天空の不夜城」 能代ねぶながし 能代宇宙イベント のしる銀河フェスティバル
9月	おなごりフェスティバル

**翁飴総本家 桔梗屋**  
おきなあめ  
200年前から親しまれている翁飴

水あめと寒天だけで作られる「翁飴」は、製造まで1週間かかる上、気温・湿度で質感が大きく変わるほど繊細。砂糖なしとは思えないほど甘さが上品で、思わず背筋が伸びてしまう逸品です。

アクセス/能代駅から徒歩8分

**セキト バイパス店**  
能代愛がいっぱいのお菓子屋さん

バスケットや伝統工芸など、能代の文化を表現したお菓子が沢山あります。看板商品の「志んこ」は、あんことお餅が重箱にぎっしりつまったもの。他にも、バスケットにちなんだお菓子「バスケットの街」や、ソフトクリームが添えられた季節限定商品「志んこパフェ」がおすすめ。消費期限は1日なので、皆さんで仲良く召し上がれ。

アクセス/東能代駅から車で5分

**乗務員のプチメモ**  
能代駅周辺には柳町という歓楽街があります。夜も滞在予定の20歳以上のお客さま、是非おすすめですよ！



東北第5位の大河  
米代川を渡ります

遮断程の無い踏切では、列車  
が通過し終わるのを農業トラ  
クターが待ってくれます

列車は米代川橋梁を  
ガタンゴトンと音を立てて進みます



猫の寄り集まる駅

## 向能代駅

Mukai-Noshiro

### 乗務員のプチメモ

向能代駅前には以前、大盛りで有名な食堂がありました。その食堂に猫たちが集まり、食堂が無くなった今は、駅ホームでゴロゴロくつろぐ光景が見られます。うっかり普通列車に乗ってきそうになったことも。

## 北能代駅

Kita-Noshiro

### 旬彩の里 野兎

絶品！隠れ家のような創作料理屋

田んぼに囲まれ、ひっそりと佇んでいるお店です。どうしてこの場所にこんな素敵なお店が？と不思議に思うほど、建物や庭の雰囲気作りがこまれています。提供されるお料理は繊細で上品な絶品創作料理。旬の素材を活かした創作料理に「美味しい！」と連呼するばかりでした。金額別コースのみ、要予約です。

アクセス/北能代駅から徒歩7分



タコの柔らかか煮とお野菜の冷汁です。

### 熊谷長栄堂

天保時代から東雲羊羹ひとすじ！

天保8(1837)年から製造されている「東雲(しのめ)羊羹」。羊羹が苦手だという若手車掌も、食べてみたらあまりに美味しくて、プライベートで買いに行っているそうです。日持ちが良いので、お土産にぜひどうぞ。

アクセス/向能代駅から徒歩17分



サイズは小・中・大  
があります(写真は  
小サイズ)。  
レトロなパッケージ  
が素敵で、伝統を  
感じます。

### 手打ちそば処 貳八矢

カウンター数席のこだわり店

住宅地にある、小さなお店です。お店を見つけるのに苦労するかもしれませんが、辿り着くと、温かいご夫婦が出迎えてくれます。店主さんがおすすめしてくれた「鴨南蛮」は、作るのに一番力が必要だとおっしゃっていました。

アクセス/向能代駅から徒歩15分



こちらはざるそば。  
風味よく、べろりと完食  
できます。  
取材日は注文が混雑し  
ていた中、先にそばせん  
べいと昆布の付け合わ  
せを出していただき、店  
主さんの細やかなサービ  
スを感じました。



東雲うどんに「じゅんさい」、  
とジュレが添えられています。



旬魚の刺身、あらごしの冷静コーンスープ、  
クリームチーズとトマト入り茶碗蒸しの3品です。

ここまでが秋田県能代市

下り列車の左手（日本海側）は  
秋田県秋田市～青森県青森市をつなぐ  
国道101号です

ここから秋田県八峰町

辺り一面、田んぼです

## 鳥形駅

Torigata

## 乗務員のプチメモ

鳥形駅を見渡しても、田んぼばかり。  
そのような場所ですので、夏は虫の宝庫。  
湿気がひどい日には、ホームにカエル  
の大群の大合唱が聴こえます。

## SPOT

・手這坂  
菅江真澄により「桃源郷」  
と称された茅葺集落。  
駅からは非常に遠い。

## 沢目駅

Sawame

## 乗務員のプチメモ

駅ホームに並んでいるお花の  
プランターは、沿線に住む方々  
が育てていらっしゃいます。道駅の駅みねはま ポンポコ101  
レクリエーションと食事とお買い物を楽めます国道101号沿いにある道の駅です。特産を扱う  
“おらほの館”と、親子連れで遊べる“ポンポコ  
山公園”、ハーブ園があります。  
おらほの館には、八峰町で300年の歴史を誇る  
石川そばや、特産の梨（毎年9月が販売シーズン）、  
しいたけ、みょうが、ねぎなどが販売されている他、  
地産地消を推進する道のレストラン “はっぼう”  
もあります。  
ポンポコ山公園には、展望台やローラー滑り台、  
専用コースで乗れるバッテリーカーなどがあります。  
軽い運動と美味しいご飯がセットで楽しめる施設  
です。

アクセス/鳥形駅から徒歩17分

乗務員から特においしい！と声があ  
った、期間限定「梨ソフト」です。  
その他、八峰町ジオパークの地層  
をモチーフにした「ちそうソフト」も人  
気との事。

風味・甘さがさっぱり！

八峰町はハタハタ漁業が有名。  
そのハタハタを使用した魚醤「しょつつる」  
が販売されています。「かほり」という梨のコンポートです。  
生のかほりは人の顔程もあるビックサイズ。沢目～岩館駅  
こちらは秋田県八峰町です

八峰町のキーワード Keyword

## 1. 八森 + 峰浜 = 八峰町

平成の大合併に伴い、誕生したのが八峰町です。  
八森は近海で獲れるハタハタ、峰浜は砂地栽培で  
育った梨など、地の利を生かした産業が活発です。

## 2. 白神山地と日本海

海と山に囲まれた一帯。2012年にはジオパークに  
認定されており、自然の恵みと造形美を楽しめます。

## しらかみカフェ

白神山地を眺望できる農家レストラン

101号から少しはずれ、「笠原果樹園」の敷地内で営業され  
ています。自慢の梨を使用したスイーツや、アワビを使用し  
たランチなどがあり、席によっては窓から五能線を走る列車  
を眺めることもできます。  
店内にはピアノやギターなどが装飾のように置かれており、  
時折オーナーさんの演奏が楽しめることも。

アクセス/沢目駅から徒歩7分

こちらは豪華！「あわびスープ  
パスタ」。あわびが丸ごとトッピ  
ングされています。和風出汁で  
さっぱりといただけます。自家製梨のタルトも絶品。りんごの  
フルーツもろみなどの店頭販売も  
行っています。

自然に囲まれたのどかな町

## 東八森駅

Higashi-Hachimori

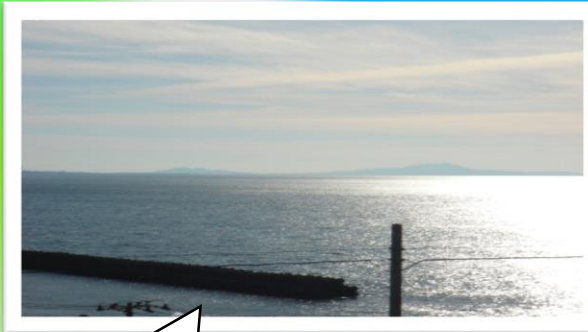
SPOT

- ・山本合名酒造
- ・松源院
- 十二支の天井絵が有名な寺院。
- ・夕映えの館 そば打ち体験館

八の字刈りの「糠森山」。  
ゴールデンウィークと盆、  
正月には八の字が  
ライトアップされます



下り: 進行方向の前、上り: 進行方向の後



下り列車だとこの辺りから  
日本海が見えてきます

下り: 進行方向左、  
上りはここで海が終わります

「東北の駅百選」に選定された、山小屋風の駅舎

## 八森駅

Hachimori

SPOT

- ・鹿の浦展望所  
日本海の絶景をゆっくりと眺められる。地元民やドライバーの憩いの場所。
- ・ブラックサンドビーチ  
海岸線を眺めていると、突如として“黒い砂浜”の海岸が見えてくる。かつて近くにあった鉱業所の溶鉱炉から流れてくるカラム(鋼滓)が冷却される際に黒い砂となり、岸に打ち上げられてこのようになったと言われている
- ・雄島  
毎年8月15日に、島から打ちあがる「雄島花火大会」が有名。

## あきた白神温泉ホテル

白神山地拠点のホテル

開放感溢れる大浴場が自慢で、無色透明・アルカリ性のお湯につかると肌がつるつるになります。  
段差の少ない設計になっており、ゆったりとした広さの客室は、特にお客さまから好評を得ているそう。  
バリアフリー専用のお部屋もあり、車椅子をご使用のお客さまにも安心してご宿泊いただけます。  
ニッ森登山やブナ自然林・留山へのトレッキング、十二湖への観光の拠点としておすすめのホテルです。

アクセス/東八森駅から徒歩10分



## ボスケツト

香りのよい白神こだま酵母パン

白神山地の腐葉土から発見された「白神こだま酵母®」でできたパンが並ぶお店です。乗務員の中には、ランニングついでに立ち寄り、お気に入りのパンを購入して帰るといった人も。車窓からお店を確認できます。

アクセス/東八森駅から徒歩6分



## しらたき 白瀑神社

JR東日本のCMにも登場!

家内安全・五穀豊穡の神様がいらっしゃる神社です。「瀑」という名の通り、高さ17mもある滝があります(滝へのご参拝は必ず御祭神へのご挨拶がすんだ後にして下さい)。当社のCM「行くぜ、東北。」で女優・木村文乃さんがこちらの滝にいらしていました。事前連絡すると、滝修行が体験できます。

アクセス/東八森駅から徒歩20分(車で5分)



### ○ Pick up: 例大祭「みこしの滝浴び」

白瀑神社では毎年8月1日、「例大祭」が行われます。白装束を着た男衆が神輿を担ぎ、滝つぼを練りまわる「みこしの滝浴び」は、全国的にも珍しい行事で、迫力・涼感たっぷり!

## 松岡食品

秋田の恵みがつまったお豆腐

白神山地の天然水と、地元の青大豆のみを使用したこだわりのお豆腐がいただけます。豆腐削り体験(要予約)も行っており、地元の方からご旅行の方まで体験されている人気ぶり。豆乳ソフトクリームやおからドーナツも美味!  
毎週木曜には高級な寄せ豆腐が限定発売されます。

アクセス/東八森駅から  
徒歩15分



工場見学は無料で受付けています。



写真はおからドーナツのミニサイズ。旅のおやつにぴったりです。

快晴の日は男鹿半島にある「寒風山」「真山」が海にぼっかり浮かんで見えます



第二小入川橋梁から。紅葉時は赤い橋とのコントラストが映えます

秋田県の県境駅

## 岩館駅

Iwadate

白神山地の玄関口

## あきた白神駅

Akitashirakami

SPOT

・滝の間海岸  
一年を通して磯釣りが楽しめる。7～8月頃には海水浴場となり、地元の家族連れで賑わう。

SPOT

・ハタハタ館  
八森いさりび温泉がある。船をモチーフにした露天風呂も。  
・あきた白神体験センター  
トレッキングや白神こだま酵母®を使用したパン作り体験など、イベントを楽しめる。  
・キャンプ場

ホームを覆う一本桜は春の見処

## 滝ノ間駅

Takinoma

### 乗務員のプチメモ

岩館近海は魚介類の種類が豊富で、男鹿水族館GAO（秋田県男鹿市）では、このあたりで捕獲された生物が数多く展示されています。

### 磯舟焼いか

焼きイカをテイクアウト！

焼きイカのほか、焼きタコ、タコごはんのおにぎりなども販売しており、海の味を気軽に楽しめます。店内には座敷もありますので、列車を待つ間のひとやすみに。

アクセス/岩館駅から徒歩10分



### 産直ぶりこ

八峰町の産直コーナー

秋田の名物魚「ハタハタ」など、新鮮な海産物・農作物を取り扱っています。名物は「さるなしソフト」で、キウイのようなさるなしという木の実を使った、甘みと酸味が程よい、爽やかなお味です。

アクセス/あきた白神駅から徒歩2分



### ドライバーレストラン海

ハタハタ館そばのお食事処

おすすめは、海の幸や野菜がたっぷり入っている「磯チャンポンラーメン」。磯の香りとみそ味に、箸がとまりません。店内は広く小上がりテーブル席があります。昭和の匂いがする食堂です。

アクセス/あきた白神駅から徒歩3分



### ○ Pick up: あきた白神駅

ホームに降り立ち、跨線橋を進んだ先には、温泉施設の「八森いさりび温泉ハタハタ館」、八峰白神ジオパーク内をトレッキング体験できる「あきた白神体験センター」、BBQなどを楽しめる「オートキャンプ場」があります。跨線橋へ進まず、山側へ突き進んだ方には山村広場がひろがっており、春は「海が見える桜の名所」として、列車はピンク色のトンネルをくぐるように、間近で観賞いただけます。

### はちもり観光市

漁港の風景と味を楽しめます

八森漁港すぐそばにあり、毎週土日開催の市場です。買い物はもちろんですが、買った魚介類をその場で焼いて食べられるコーナーや、「みそたんぽ」「つみれ汁」などをいただける食堂も人気です。

アクセス/滝ノ間駅から徒歩10分



威勢よく出迎えてくれる店主さんたち。その日のオススメを熱く語って下さいます。

この区間  
県境  
エリア

青森県の県境駅

大間越駅

Omagoshi

その名通り、登山者の利用多し

白神岳登山口駅

Shirakamidaketozanguchi

SPOT

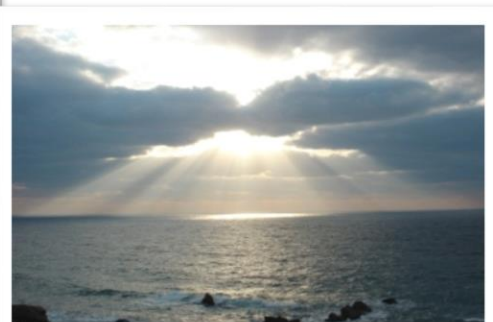
・白神岳  
白神山地の主峰。海拔0mの海岸から1,235mの山頂まで、一気に登れる山として古くから親しまれてきた。

松神駅

Matsukami



トンネルを抜けると一気に視界が開け「木蓮寺海岸」へ。映画のワンシーンのように切り立った崖と水平線が続きます。



時には雲間から太陽光が差し込み、天使の階段を創り出します。

### ○Pick up: 県境は絶景ポイントです

岩館駅から大間越駅までの区間は、ちょうど秋田県と青森県との県境にあたります。地上から10数メートルの高さから見渡すことができる「木蓮寺海岸」は、空と海が広がり続ける、まさに絶景です。

大間越～陸奥柳田駅  
こちらは青森県深浦町です



深浦町のキーワード Keyword

#### 1. ビッグスケール

駅にして18駅を含み、景勝地の数も五能線随一。白神山地の恩恵にあずかり、十二湖や夕日など自然を目的に訪れる方々はワールドスケール！

#### 2. 夕陽が美しい一帯

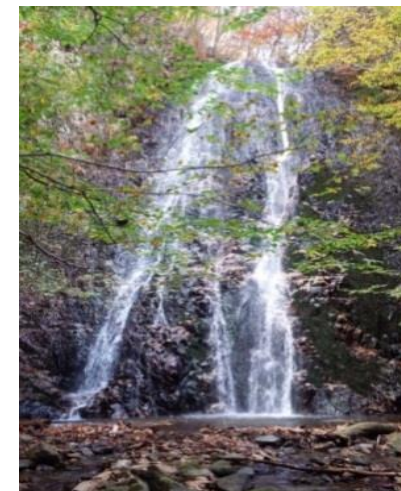
海岸沿いを走り続ける区間のため、海岸線に日が沈む瞬間を車窓から見られる確率がとても高い。天候・日没時刻と列車時刻を調べ、ぜひ狙ってみてください。

### ▶ 不動の滝

藪奥に潜む滝

駅へ降り立ち、鳥居に向かって進むと奥地で発見できます。現地へ向かった運転士は、その美しさに感動していたのですが、藪のため、蜂に遭遇したとのこと。十分注意してください。

アクセス/松神駅から徒歩20分



神秘の湖沼群

## 十二湖駅

Jūniko



JR東日本で最も短いトンネル「仙北岩トンネル」を過ぎると…



乗務員人気No.1の絶景！  
森山海岸です



地元ユーザー多し

## 陸奥岩崎駅

Mutsu-Iwasaki

### SPOT

- ・十二湖庵  
“落口の池”前にある茶室。
- ・森の物産館キョロロ
- ・アオーネ白神十二湖  
自然体験型リゾート宿泊施設。  
温泉やレストラン、物産館などあります。

### 乗務員のプチメモ

奇岩が連なる一帯。「賽の河原」という別名もあります。象の顔のように見える“象岩”や海賊が宝を隠したとされる、穴の開いた“ガンガラ岩”などあります。ぜひ探してみてください！

### 乗務員のプチメモ

昔は駅員が常駐していましたが、今では無人駅。ホームが2つあった名残から、駅に近づく、線路が少しカーブします。

青池



鶏頭場の池



### ○ Pick up : 十二湖

世界自然遺産・白神山地の一帯には33の湖沼群があり、中でも大崩から見下ろした際に確認できる12の湖を「十二湖」と呼んでいます。江戸時代に起こった地震により、形成されたとされています。神秘的な瑠璃色の湖「青池」は、写真そのままの青さなのですが、なぜこのような色なのか、正確にはわかっていないそう。一時間ほどの軽いトレッキングから、一日がかりで歩くコースまであり、国内外から多くの来訪者を集めています。

### ▶ 静観荘

#### ボリューム満点の定食屋

海産物がメインの定食屋さんです。お店周辺の海でとれた新鮮・豪華な海産物が楽しめます。おまかせ定食はボリュームがあり、満足感を味わえます。店内はとても広く、団体でご旅行のお客さまもしばしばご利用されるそうです。取材に行った運転士も、豊富な種類の魚介類をいただけて、大満足でした。アクセス/十二湖駅すぐそば



この日の「おまかせ定食」はボタンエビ・アワビ・ヒラメの刺身と、黒メバルの煮つけなど。



トンネルを抜けると  
白神山地が！

下り: 進行方向左  
上り: 進行方向右

線路沿いに猿や鹿が  
よく出没します

林に囲まれた駅です

### 陸奥沢辺駅

Mutsu-Sawabe

ヨーロッパ風の建物が並び

### ウェスパ椿山駅

WeSPa Tsubakiyama

駅名、読めますか？（その1）

### 鱸作駅

Henashi

海の向こうに「久六島」が浮かぶ

### 横磯駅

Yokoiso

#### 乗務員のプチメモ

空気の澄んだ日は山の色合いが鮮明で、霧がかると山の輪郭が神秘的に映ります。その時々眺めを楽しんでみてください。

SPOT

・和風ペンション美洋館  
どぶろくが飲める和風ペンション。

#### 乗務員のプチメモ

秋になると落ち葉のせいで車輪が空回りし、列車はなかなか前に進みません。運転士の腕の見せ所です。



#### モヤイ像

ウェスパ椿山駅からすぐのところにある表裏一体の男女像「モヤイ像」。渋谷駅にあるものが有名ですが、青森県にもあるんです。縁結びのシンボル！

#### 乗務員のプチメモ

この地には、むかし韓国から船が漂流してきて、破損したその船の鱸を造りなおして帰ったといわれています。これに由来し「鱸作」と言われています。

#### 黄金崎不老心死温泉

日本海が目の前に広がる露天風呂

よく温まり冷めにくいことから「熱の湯」と言われている不老心死温泉は、殺菌効果も高く、傷に効くことから「傷の湯」、美肌効果から「美肌の湯」とも言われています。海辺の露天風呂は、夕暮れが近づくとオレンジに包まれ、海と一体化しているかのよう。お食事処「夕陽」では、ご近所の漁港や農家から仕入れた地元の食材を味わうことができます。

アクセス/ウェスパ椿山駅から車で5分  
(無料送迎あり・要予約)



#### 横磯のエノキ

日本海側北限のエノキ

エノキは暖地系の植物で、太平洋側では宮城県が北限であり、日本海側ではこちらの「横磯のエノキ」が北限です。葉っぱは森の生き物に人気で、蝶などにとって欠かせないエサとなっています。

アクセス/横磯駅から徒歩5分



「エノキ」の根張り(地際の幹)の美しさは、日本樹木の種類の中でもナンバーワンとされています。



横磯～深浦駅で見る夕日は海面に反射する光が橋のように伸び、格別に美しく映えます

### ○ Pick up: 深浦駅

漁港の町・深浦の最寄り駅です。江戸時代中期から明治には「北前船の風待ち港」として、北は北海道から南は大阪まで、訪れる商業船で溢れていたといえます。

近海で獲れた新鮮な魚介を楽しめるお店が多く、「夕日が見える町」として数々の絶景を生んでいます。



漁港の灯りが水面に映る光景は幻想的。うみねこの鳴き声が聞こえてきます。



“北前船の風待ち港”として栄えた

## 深浦駅

Fukaura

### SPOT

- ・風待ち館  
北前船「深浦丸」を復元・展示し、北前船がもたらした文化や交易を紹介している。
- ・円覚寺  
807年に坂上田村麻呂が建立したとされる。毛髪で刺繍された掛け軸や、聖徳太子の作と言われる十一面観音を安置。
- ・太宰の宿ふかうら文学館  
太宰治や大町桂月、成田千空らの作品や、深浦との関わりを紹介。
- ・深浦町歴史民俗資料館  
港町として栄えてきた歴史や文化を伝承する施設。
- ・岡崎夕陽展望所  
海岸線を一望できる。
- ・弁天島  
安全航海と豊漁を祈願する場所として、北前船交易の盛んだった頃に建立された。
- ・深浦町フィットネスプラザゆとり  
日帰り入浴が可能。
- ・千鳥塚  
松尾芭蕉の命日に、彼を偲んだ俳人が集まり、1767年に建てられた塚。



五能線屈指の絶景!

ゆきあいざき

行合崎海岸です

### ▶ 食べ物屋 セイリング

北前船のお食事処

深浦特産のマグロなど、地元食材を楽しめる食事処。「海彦山彦御膳」は、地元で水揚げされた新鮮魚がボリューム満点です！乗務員のおすすめは、ふかうら雪人参などの具材がとろけるふかうら雪人参ビーフシチュー。お土産用に個包装されたものも販売しているので、ぜひご賞味あれ。

アクセス/深浦駅から徒歩3分



ビーフシチューライスセット。濃厚な味の中に、雪人参の甘さをはっきり感じられます。

赤茶色の岩が隆々とそびえ立ち、複雑な岩間に波が寄せ返す。

### ▶ 大岩海岸

陸地から海へ歩いて渡れます

深浦の海を見渡すと橋が架かる岩が1つだけあります。それがこちらの「大岩」。波の穏やかな日には、海を渡り岩に登ることができます。岩の上から眺める景色に、ちょっとした冒険家気分が味わえるとか。

アクセス/深浦駅から徒歩5分



橋から鳥居、大岩へと続いています。眺望は、ぜひ直接訪れて確かめて下さい。



海に接近している区間のため、  
\*越波計や風速計を設置して  
安全管理をしています

※越波計とは  
防波堤を超えて線路内に入り込んでくる波を測定し、  
基準値を超えた場合には運転見合せを知らせる装置

海に急接近の駅

広戸駅

Hiroto

海と田んぼと山、のどかな風景が広がります

追良瀬駅

Oirase

駅名、読めますか？（その2）

轟木駅

Todoroki

○ Pick up: 深浦～鰯ヶ沢駅の絶景

深浦駅から鰯ヶ沢駅までの間、列車と日本海は最も距離をつめて走行します。あまりの近さに、車内では歓声があがることもしばしば。波が立つ日には、迫力ある日本海を楽しむことが出来ます。



とある冬の日、リゾートしらかみ轟木駅通過時の光景。日本海の荒波や、吹きすさぶ寒風、厳しい自然に晒されますが、五能線は安全第一に走行します。

SPOT

・見入山観音堂  
津軽観音霊場の第9番札所で、最も難所とされている。山伏の修験場であったとされる急坂の先、断崖に建てられている。

乗務員のプチメモ

海を眺めていると、時折見えてくるのが海のレジャーを楽しむ方々。海辺でバーベキューをする家族、海水浴を楽しむ若者、海釣りを楽しむ男性、海藻を探すおばあさん等々。列車を見かけると、「おーい」と手を振ってくださるフレンドリーな方がとても多いです。ご乗車のお客さまも、思わず笑顔で手を振り返し、車内が少しあたたかな雰囲気になります。

▶ 轟木駅

鉄道ファンが立ち寄る秘境駅

古びた木造の駅が、海辺にぽつんと建っています。駅周辺には立ち寄る場所が何一つないのですが、常連のお客さま以外にも降り立つ方がしばしばいらっしゃいます。“青春18きっぷ”のポスターや、映画・ドラマ・TV番組にとりあげられるなど、言わずと知れた秘境駅です。駅の中には、訪れた人がコメントを残してゆく「思い出ノート」があったり、ホームには夕日時計も置かれていたり…旅人が足跡を刻み続ける、なんとも不思議な駅です。名前の由来は、「波の音が轟いて馬が3頭おどろいたから」と伝わっています。各駅停車の五能線を満喫するならば、立ち寄らずにはられません！



駅に置いてある思い出ノート。6年間で3冊たまっていました。



ホームに立っているだけで、旅情いっぱい。

駅名、読めますか？（その3）

## 風合瀬駅

Kasose

### 乗務員のプチメモ

名前の由来は「三方向から吹く風がぶつかり合う場所」と伝わっています。夏には遠足にやってくる園児たちを見かけることがあります。

### 道の駅ふかうら

郷土料理が豊富！海水浴もできます

「いか焼き村」と書かれた巨大イカ看板が出迎える道の駅。国道101号沿いにあります。スーパーではお目にかかれなような地元の郷土料理や採れたて新鮮の魚介類が並んでいます。軽食コーナーもあり、ゆったり休憩するにはちょうどよい場所です。建物を抜けて海へ進むと、夏場は海水浴を楽しめる場所になっています。※脱衣所とシャワー室あり。シャワー室は7・8月のみ営業。

アクセス/風合瀬駅から徒歩20分・車で4分



注文後、目の前でイカの処理から炭火焼までスピーディに提供される焼きイカ。海を見ながら食べると、なお絶品です。



いかめしやニシンのお寿司など。パックで販売されているので、別の目的地で景色を眺めながら食べるといった楽しみ方もできます。



駅舎にイチョウのマーク

## 大戸瀬駅

Odose

### 民宿田中

景勝地を眺められる民宿

千畳敷海岸に面した民宿です。店の外で干した焼きイカと、岩のりの味噌汁がおすすめです。店内には訪れた芸能人の写真が数多く貼られています。元気なお母さんが看板娘！

アクセス/千畳敷駅すぐそば



焼きイカと岩のりの味噌汁。海のおいにおい包まれて食事できます。

津軽の殿様御用達

## 千畳敷駅

Senjōjiki

※ リゾートしらかみ1・6号は停車しません

SPOT

・千畳敷センター  
一品物から定食・丼まで、メニューが豊富。なかでも“もずく”が美味と評判。



津軽藩の殿様が愛した！  
千畳敷海岸です

### 乗務員のプチメモ

江戸時代（1792年）の地震で隆起したといわれる海岸。津軽藩の殿様が、昼を“千畳、敷いて酒宴を催したという岩棚が続きます。駅からトンネルを抜けた先には、西洋兜のような形の「兜岩」があります。

空気が澄み、快晴の日には下北半島や北海道が見えることがあります

熊野宮の参道と線路が交差しています

日本一のイチョウが見えます

## 北金ヶ沢駅

Kita-Kanegasawa

SPOT

・関の杉

県天然記念物に指定されている杉で樹齢千年以上。形が水甕(みずがめ)を伏せたように見えることから別名「甕杉」とも。

・関の古碑群

関の杉かたわらにある42基の供養塔。南北朝時代の戦乱時の遺跡で、歴史的に貴重とされる。

## 北金ヶ沢の大イチョウ

樹齢千年を超える巨木

高さ31m、幹回りが22mもあり、日本一の大銀杏と言われます！国の天然記念物に指定されています。

1,000年以上も昔からこの地に根をはり、地元の方々からは御神木として信仰されていました。幹から垂れ下がる“気根”という部分に触れると、母乳の出が良くなるという伝えられており、別名「垂乳根(たちね)のイチョウ」とも呼ばれています。

列車からも見えますが、場所の関係上、一瞬で通り過ぎてしまいますので、ふもとまで行ってご覧いただくのがおすすめです。

紅葉シーズンには、ライトアップされますので夜も観光客が絶えない人気スポットです。葉が散る頃には、足元一面が黄金色のじゅうたんになります。

アクセス/北金ヶ沢駅から徒歩10分



紅葉シーズンは多くの方々が木のふもとに集まり、景色を堪能されています。紅葉時以外は山と同化して見えてしまうので、列車から探すのは難しいかもしれません。

## 乗務員のプチメモ

北金ヶ沢駅は、上下列車の待ち合わせ場所です。散歩で立ち寄る地元の常連さんや、近隣の園児たちが列車をお見送りに来てくれることも。

参道を線路がまたぐ

## 陸奥柳田駅

Mutsu-Yanagita

开

熊野宮へ

## お食事処 匠屋

ふかうらB級グルメの発祥店！

国道101号にあるアットホームな食事処。深浦町のB級グルメ「深浦マグロステーキ丼」の旗揚げ店でもあります。地元で水揚げされた素材は、その新鮮さに思わず感動してしまうほど。

アクセス/陸奥柳田駅から徒歩5分



お店で一番豪華な「おまかせ定食」。魚介を中心に天ぷら・刺身・卵とじなど、余すことなく堪能できます。

## 乗務員のプチメモ

青森県で「マグロ」といえば大間と答える方が多いと思いますが、マグロの水揚げ量なら深浦町が青森県でイチバンなのだそう。深浦町で獲れた天然本マグロを、3種類の食べ方で楽しめるのがご当地グルメ「深浦マグロステーキ丼」。提供店舗ごとに独自のタレを用意しているそうですよ。

日本海を離れて  
内陸部へと進んでいきます



ご紹介はここで終わり  
ですが、五能線はこの先  
川部駅まで続きます

白神山地に  
源流がある赤石川  
を渡ります

## 陸奥赤石駅

Mutsu-Akaishi

この先は青森県鱒ヶ沢町です

## 鱒ヶ沢駅

Ajigasawa

SPOT

- ・きくや商店  
言わずと知れた有名犬、わさおとつばきがいたお店。現在は養子のちよめがお出迎え。
- ・焼きイカ通り  
「イカのカーテン」と称される、イカの生干しが並ぶ通りで、焼きイカ店が並んでいる。
- ・海の駅わんど  
新鮮な海産物など販売。2階には地元出身の力士・舞の海の活躍を展示する「鱒ヶ沢相撲館」がある。
- ・くろくまの滝  
高さ約85m、幅約15mで青森県最大級の滝。観音様が合掌しているように見えるという。

### ▶ 岩木山

青森県最高峰の山

陸奥赤石駅の手前にある赤石川を通過する際、ちょうど山側に見えてくるのが「岩木山」です。標高1,625mで、古代から津軽の象徴として崇められてきました。地元の方々からは、「津軽富士」「お岩木山」などとも呼ばれています。太宰治の著書「津軽」では、「決して高い山ではないが、けれども、なかなか、透きとおるくらいに憚媚たる美女ではある」と表現し、その美しい山容を称えています。

鱒ヶ沢駅～  
こちらは青森県鱒ヶ沢町です



✓ 鱒ヶ沢町のキーワード Keyword

### 1.ご当地グルメ

上写真の「ヒラメのツケ丼」のような、地元食材を活かした高級品から、学生に愛される懐かしい味まで、鱒ヶ沢はグルメの宝庫なんです！

### 2.相撲文化

青森県といえば数々の有名力士を輩出している“相撲王国”ですが、鱒ヶ沢では町を挙げて地元のヒーローを応援しています。

### ▶ たこ焼き西海

揚げたてジューシー「チキンボー」

鱒ヶ沢駅向かいのショッピングセンター「パル」隣のお店。たこ焼きや大判焼など定番品もありますが、イチオシは地元のソウルフード「チキンボー」。皮付チキンを薄くのばして揚げ、肉汁とパリパリの衣が抜群に美味しい一品です。

アクセス/鱒ヶ沢駅から徒歩1分



マヨネーズもトッピングできます。

### ▶ お菓子パン工房TATSUYAのジャンボバナナボート

でっかくてビックリ！

ショッピングセンター「パル」内のお菓子パン工房TATSUYAさんで販売。お味はたっぷり生クリームとバナナ入り。期間限定の味もあります。完食チャレンジあれ。

アクセス/鱒ヶ沢駅から徒歩1分



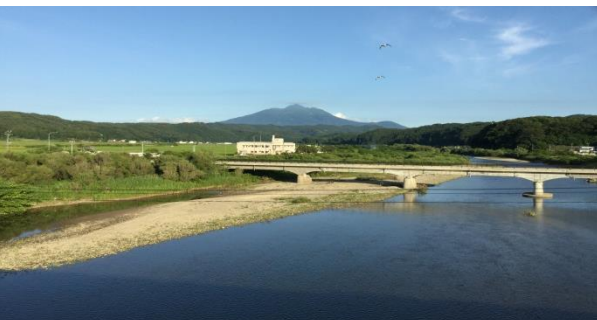
### ▶ 尾崎酒造

鱒ヶ沢の地酒といえば...

1860年創業の蔵元。仕込み水には白神山地の湧水を使用し、すっきりとした口当たりが特徴です。下写真の特別純米酒「安東水軍」は、津軽を本拠とした水軍から名をとった一品。

アクセス/鱒ヶ沢駅から徒歩30分(車で7分)

車窓の景色を楽しみながら、ぐいっと一盃！



赤石川通過時の岩木山。霞がかると見えないこともありますが、鱒ヶ沢駅よりも北側の沿線では、りんご畑とともにご覧いただけます。

見かけたあなたは  
ラッキー♪

## 動物編

1

線路沿いには多くの動物が出没します。  
猿、カモシカ、兎、狸、狐、熊などなど。  
出没スポットもある程度確定しています。

2

猿は線路に腰かけていたり、カモシカは  
線路を横断歩道にしていたり、狸は列車と  
並走していたり。人間と動物が共存する  
路線です。

3

鳥類もさまざま目撃されていますが、  
カラスは、わざわざ線路に石を置いて  
飛び去って行くという遊びをしています。  
冬にはカモメがハタハタを捕食する光景も。

自然は美しさと厳しさを  
併せ持ちます・・・

## 自然編

1

海を眺めると、時折色合いが層のように  
異なって見えることがあります。  
これは“潮目”と呼ばれる現象で、異なる  
潮がぶつかり合うと発生するそうです。

2

五能線はかつて、無能線と呼ばれることが  
ありました。強風、越波、大雨...さまざまな  
自然環境にさらされ、運休することもしばしば。  
ご迷惑をおかけして申し訳ございません。

3

広戸～追良瀬駅には越波計を設置し、  
列車が運行できる状態か確認しています。  
安全上問題がなく、波が高い日には、迫力  
ある日本海がご覧いただけます。

日々の乗務体験から、お客さまにお話しするには少々マニアックが過ぎるかもしれませんが、旅行を更に楽しめる情報を載せてみました。

特選

# 写真集

写真にこだわりをもつ乗務員が、載せきれなかった写真の中からお客さまに知っていただきたいものをピックアップしました。コメント付でお楽しみください。



ぽかぽか陽気につられて、ランラン春爛漫♪



朝日をあびた影もトコトコ付いてきます



始発列車が寒さに凍えながら、発車時間を待ちます



五能線を代表する色「朱5号」。通称たらこ待ちます



れんが造りの鉄橋。時代の流れを感じさせます



鉄路の向こうに夕陽が沈み、光の道を作ります



自然の造形美「氷壁」。二度と同じものはありません



この鉄橋を渡るといよいよ旅情がそそられます



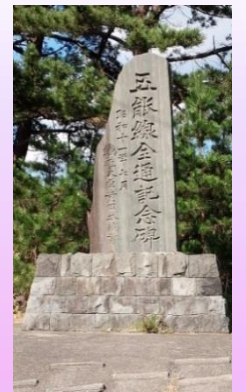
鉄道ファンの間では有名？な駅、「蠹木」です



荒天に咲く花。「波の花」と言います



水平線と棚田...何気ない風景も絵になります



鱸作駅そばにポツンとある五能線全通記念碑。立ち寄ってみては？

## POINT INFO

### あ

#### ●あきた白神温泉ホテル

(〒)秋田県山本郡八峰町八森字磯村100  
(☎)0185-77-2233  
(休)年中無休

#### ●磯舟焼いか

(〒)秋田県山本郡八峰町八森字岩館向台81-14  
(☎)0185-78-2058  
(営)平日9:30～17:00、土日9:30～17:30  
(休)不定休 ※12～3月は冬期休業

#### ●ウェスパ椿山

(〒)青森県西津軽郡深浦町舳作鍋石226-1  
(☎)0173-75-2261

#### ▼物産館

(営)9:00～18:00 ※11～3月は17:00まで  
(休)年中無休

#### ▼昆虫館

(営)9:00～18:00 ※11～3月は17:00まで  
(休)年中無休

#### ▼白神ガラス工房

(営)9:00～18:00  
(休)4～10月は無休 11月は火曜定休  
12～3月は冬期休業

※体験は土日祝日と夏休み期間のみ

※体験ご希望の際は。事前にご連絡下さい

#### ●大岩

(問合せ先)深浦町観光協会  
(☎)0173-74-3320

#### ●お菓子パン工房TATSUYA

(〒)青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町上富田149-2  
ショッピングセンター『パル』内  
(☎)0173-72-5885  
(営)9:00～20:00  
(休)年中無休

#### ●翁飴総本家 桔梗屋

(〒)秋田県能代市島町6-8  
(☎)0185-52-5853  
(営)9:00～18:30  
(休)木曜、第1・3日曜

#### ●尾崎酒造

(〒)青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字漁師町30  
(☎)0173-72-2029  
(営)8:00～17:00  
(休)土曜・日曜

#### ●お食事処 匠屋

(〒)青森県西津軽郡深浦町大字関字豊田6-6  
(☎)0173-76-3630  
(営)11:00～14:00、17:00～20:00  
(休)水曜

### か

#### ●熊谷長栄堂

(〒)秋田県能代市向能代字上野165  
(☎)0185-52-6413  
(営)10:00～16:00  
(休)日曜・祝日

### さ

#### ●産直ぶりこ

(〒)秋田県山本郡八峰町八森字御所の台51  
(☎)0185-70-4020  
(営)夏9:00～18:00、冬9:00～17:00  
(休)12/31、1/1～3は休み

#### ●旬彩の里 野兔

(〒)秋田県能代市竹生176  
(☎)0185-54-8966 ※完全予約制(前日まで)  
(営)11:30～14:30、17:30～22:30  
(休)不定期

#### ●しらかみカフェ

(〒)秋田県山本郡八峰町峰浜水沢字家の下谷地38-4  
(☎)0185-76-3715  
(営)11:00～16:00  
(休)火曜

#### ●白瀑神社

(〒)秋田県山本郡八峰町八森字館10  
(問合せ先)八峰町観光協会  
(☎)0185-76-4100

#### ●静観荘

(〒)青森県西津軽郡深浦町大字松神字下浜松33-5  
(☎)0173-77-2018  
(営)10:00～16:00  
(休)年中無休

#### ●セキト バイパス店

(〒)秋田県能代市字下内崎63-13  
(☎)0185-52-1230  
(営)8:30～18:30  
(休)水曜

### た

#### ●たこやき西海

(〒)青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字下富田29-115  
(☎)0173-72-5937  
(営)9:00～18:30  
(休)第1・3水曜 ※祝日は営業

#### ●食べ物屋 セイリング

(〒)青森県西津軽郡深浦町深浦苗代沢78-34  
(☎)0173-74-3068  
(営)11:00～19:00頃  
(休)不定休

#### ●手打ちそば処 貳八矢

(〒)秋田県能代市落合字下谷地174  
(☎)0185-54-8884  
(営)11:00～14:00  
(休)金曜

#### ●ドライバーレストラン海

(〒)秋田県山本郡八峰町八森御所の台30-1  
(☎)0185-77-2812  
(営)10:00～20:00  
(休)第2・4水曜

## は

- はちもり観光市  
(〒)秋田県山本郡八峰町八森字横間156  
(問合せ先)八峰町観光協会  
(☎)0185-77-3774  
(営)9:00~17:00 ※毎週土日のみ営業

- 不動の滝  
(問合せ先)深浦町観光協会  
(☎)0173-74-3320

- 黄金崎不老ふ死温泉  
(〒)青森県西津軽郡深浦町大字舳作字下清滝15  
(☎)0173-74-3500  
(休)年中無休

- ボスケット  
(〒)秋田県山本郡八峰町八森字湯の尻23-8  
(☎)0185-77-2889  
(営)9:00~19:00 ※パンがなくなれば終了  
(休)月曜

## ま

- 松岡食品  
(〒)秋田県山本郡八峰町八森字古屋敷43-3  
(☎)0185-77-2024  
(営)7:00~19:00  
(休)不定休

- 道の駅ふかうら  
(〒)青森県西津軽郡深浦町大字風合瀬字上砂子川144-1  
(☎)0173-76-3660  
(営)9:00~18:00 ※1~3月は17:00まで  
(休)年中無休

- 道の駅みねはま ポンポコ101  
(〒)秋田県山本郡八峰町沼田字ホンコ谷地147番地  
(☎)0185-76-4649  
(営)9:00~18:00 ※11~3月は17:00まで  
(休)1/1~3

- 民宿 田中  
(〒)青森県西津軽郡深浦町北金沢字榊原138-5  
(☎)0173-76-2977  
(休)不定休

## や

- 横磯のエノキ  
(問合せ先)深浦町観光協会  
(☎)0173-74-3320

『各駅停車のススメ』のご感想をお待ちしています♪

アンケートページへは下記コードから



営業日・時間は変更になる場合があります。  
訪問する際は、あらかじめお問い合わせください。

編集: 東能代運輸区マイプロジェクト

※ 記載の情報は、2020年11月1日現在のものです。  
※ 写真は全てイメージです。実際のものとは異なる場合があります。